

委員会報告

2020年度、J C 活動広報委員会は組織運営強化を図ることと、青年会議所の活動、運動をより多くの人たちに理解してもらうための情報発信力向上という2つを念頭に置いて1年間活動を展開してまいりました。

まずは、総会、定例会を円滑に進行するために、各委員会と連携をとり、委員会メンバーが一丸となって行動しました。参加率を向上させ、活動に対する意欲を向上させるためには各メンバーへの地道な声掛け運動の徹底が重要であり、参加率向上へ向けた行動を次年度へもしっかりと引き継いでまいります。そして、今年度は青年会議所活動により多くの人たちが興味、関心をもってもらえるように、HP、SNSの投稿の頻度を上げ、多くの情報を発信してまいりました。また、HP、SNSの画像のみの投稿だけでなく、より一層日々の活動を事細かに発信するために、新たな試みとして毎月の定例会、事業のPR動画を作成し、YouTube上の能代青年会議所チャンネルにアップしてまいりました。例年より発信頻度を上げ、新たに動画を用いて活動の紹介をすることで、実際にHP、SNSのアクセス数が増加し、多くの人たちに青年会議所の活動、運動を届けることができ、認知度の向上につながりました。さらに、継続的な情報発信ならびに発信手段の選択は、情報社会の中において非常に重要な点であり、今後の情報発信運動について1つの指標となったと考えます。

また、5月定例会では4月に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Web上で定例会を開催しました。メンバー個々の精神性を高める定例会をテーマとして禅語や仏教由来の言葉を全員で学び、グループワークを行うことで、日々を豊かに過ごす方法のヒントなどを考える機会になったと考えます。さらに、2回目のZoomを用いたWeb定例会ということで、動画の画面共有や、アンケートといったZoom内機能を用いて定例会を進行したことは、今後のWeb会議を広げる一因となったと考えます。そして、10月に行った社業発展をテーマにした事業では、5月と同じくWeb上でオンライン会議を行いました。当日は秋田県内で活躍されている4名の地域おこし協力隊の方々をお招きして、メンバーと「秋田の若者の理想の働き方」を切り口に「これからの秋田の働き方」を考える討論を行いました。多くの地域、世界を見てきた協力隊の方々との話し合いは、メンバーに対しても多大な刺激となり、自社の働き方を考えるきっかけになったと考えます。さらに本事業は討論の様子をYouTubeライブ上で配信し、誰でも視聴できる形で実施しました。ライブ配信では最終的に153名が事業を視聴してくださり、情報発信に力を入れる委員会として大きな前進となった事業でした。また、12月の家族交流会では例年とは違うヨガを使った交流会を法輪寺で実施しました。天候が荒れる中ではありましたが、多くの家族の方に参加していただき皆さん楽しんでヨガを行っていただきました。大倉ヨーガスタジオから幅広い年齢層にヨガを

教えている講師の方をお招きし、第一部では基本的なヨガの実践、第二部ではヨガを使ったゲームを行うことで大人だけでなく、子どもたちも楽しんで交流会に参加できたと考えます。

最後に定例会運営やSNSなどでの情報発信において至らぬ点が多々あったかと思えます。多くのメンバーの皆さまよりご協力をいただき、そして理事の皆さまからご鞭撻を頂戴し2020年度の活動を続けることができてきました。初の委員長として培った経験、学んだ体験を今後の青年会議所活動、運動へと役立て、青年会議所の運営にこれからも貢献していけるように心のやる気スイッチを連打してまいります。1年間、本当にありがとうございました。

事業報告

日付	内容	会場	公益性
1月11日	年次資料・会員名簿作成		-
2月 1日	2月担当例会 「集え！秋田へ2.1」	秋田ビューホテル	-
5月25日	5月担当例会「日日は好日」	大乗山 法輪寺 (Web上)	-
10月26日	社業発展事業 「秋田：未来のジブン会議」	Web上	-
12月20日	家族交流会	大乗山 法輪寺	-
翌1月 9日	広報誌「松原」発行		-
通年	総会・定例会運営		-
通年	事業写真・ホームページ管理・事業PR動画配信		-

【定例会出席率】

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
68%	69%	中止	75%	77%	74%	61%	67%	70%	59%	83%	70%	70%

決 算

項目	金額
・2月担当例会「集え！秋田へ2.1」	11,000円
・社業発展事業	9,220円
・家族交流会	13,317円
・広報誌「松原」発行	27,834円
・PR動画作成事業	27,834円
合計	112,730円